

小杉社会福祉会館改修・改築工事による複合施設整備基本計画
(案)に関するパブリック・コメントの実施結果について

1 実施期間

平成29年1月4日(水)から2月3日(金)まで

2 閲覧した書類

小杉社会福祉会館改修・改築工事による複合施設整備基本計画(案)

3 書類の閲覧場所等

- (1) 射水市ホームページ
- (2) 窓口等での閲覧(6か所)
 - ・ 市地域福祉課
 - ・ 各図書館
 - ・ 小杉社会福祉会館

4 寄せられたご意見等

- (1) 意見等の提出者数 2名
- (2) 意見の件数 10件

5 ご意見等の提出方法

- (1) 書面の持参 1件
- (2) ファクシミリ 1件

6 ご意見等の概要・ご意見等に対する考え方
別紙のとおり

小杉社会福祉会館改修・改築工事による複合施設整備基本計画
(案)に対する意見等の概要及び考え方

No	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正の有無
1	3 整備の基本的な考え方 (2) 基本方針 イ 現建物の利用と交流機能の集約・充実 (P11)	築後40年近く過ぎて設備の老朽化が進み、耐震性能も確保されていないため、新築する方が望ましいのではないか。	「射水市公共施設等総合管理計画」では、存続施設についてはこまめに補修を行う予防保全に努め、長寿命化を図ることで、コストの縮減を図ることとしています。 この考え方を踏まえ、今回の整備に当たっては、費用が増大する建替え（新築）ではなく、耐震性能の確保はもちろんのこと、設備の老朽化に対応した大規模改修を行う考えです。	無
2	3 整備の基本的な考え方 (2) 基本方針 エ 敷地周辺の有効活用 (P11)	福祉目的と交流機能を併せ持つ施設に商工会が入所するのは、なじまないのではないか。	今回の再整備に当たっては、「射水市公共施設等総合管理計画」で示された考え方を踏まえ、周辺施設の機能の集約・複合化を図ります。また、敷地周辺を有効活用し、駐車場を整備することに伴い、商工会に事務室を貸与する方向で調整する考えです。 なお、県内外では、商工会と福祉関係団体等が同じ施設に入所している事例があります（朝日町五差路周辺複合施設や入善まちなか交流施設うるおい館など）。	無

No	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正の有無
3	4 施設・設備等の検討 (1) 施設整備の考え方 エ 災害に強い、安全な施設 (P12)	施設利用者の安全対策を万全にしてほしい。	災害発生時に避難所として位置付けることから、必要な耐震安全性や機能を備えるとともに、ユニバーサルデザインに配慮した施設とすることなどにより、普段の利用者の安全を確保していく考えです。	無
4	4 施設・設備等の検討 (2) 求められる施設・設備等 イ 設備等 (ア) トイレ (P13)	トイレは、全てを洋式にするのではなく、和式も残してほしい。	ご意見を踏まえ、次のとおり修正します。 【修正前】 「各階に配置します。」 【修正後】 「多様な利用者に配慮し、各階に配置するトイレの種類や機能などを検討します。」	有
5	4 施設・設備等の検討 (2) 求められる施設・設備等 イ 設備等 (イ) 廊下、階段、エレベーター (P13)	エレベーターは2か所必要ではないか。	設計段階で、利用しやすい動線の確保について、費用抑制の面も考慮しながら検討する考えです。	無
6	4 施設・設備等の検討 (3) 施設内の配置イメージ (P15)	防災備蓄庫は交通の便の良い場所で独立したものを建ててはどうか。	市の考え方を明記するため、イメージ図の下に次のとおり加筆します。 「 防災備蓄庫については、災害発生時に避難所として位置付けることから、初動対応時に必要な物資を施設内に配備しておくため、災害時の浸水等を避けられる2階以上に設置します。」	有

No	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正の有無
7	4 施設・設備等の検討 (3) 施設内の配置イメージ (P15)	多目的ホールは、1階に配置してはどうか。	市の考え方を明記するため、イメージ図の下に次のとおり加筆します。 「また、多目的ホールについては、天井を高くする予定であるため、1階に配置すると、2階の管理棟と改築棟をつなげることが、床高の違いから、不可能になります。また、多目的ホールは室内に柱を設けない大空間のため、その上階に各部屋を設置することは、建物の構造上、困難であることから、2階に配置します。 なお、多目的ホール等への動線については、誰もが利用しやすいように、設計段階で検討します。	有
8	4 施設・設備等の検討 (4) 想定規模 (P16)	現在の利用状況では、和室や会議室の利用が少ないため、入所する団体の事務室を広くし、会議室機能を備えれば十分ではないか。	今回、再整備する複合施設では、新たに生涯学習センターの機能を集約するため、入所団体以外の一般利用者が交流する機能（和室や会議室、研修室など）を確保することにより、稼働率の向上を図っていく考えです。	無
9	4 施設・設備等の検討 (4) 想定規模 (P16)	中規模の集会場があればよい。	現在の大集会室では大人数で利用していることがあることから、大規模の集会機能を確保しながら、可動間仕切りを設けることにより、中規模でも利用できるように検討していく考えです。	無

No	対象箇所等	意見等の概要	意見等に対する考え方	修正の有無
10	5 スケジュールと事業の財源 (2) 事業の財源 (P17)	工期が複数年にわたり流動的になると思われるため、少し多めに時間と費用がかかっても使い勝手のよい施設にしてほしい。	P17 の 5 (2) に記載しているとおり、整備費用については、目安として約 12 億円を示していますが、今後も厳しい財政状況が続くと予想されることから、事業費を精査し、その抑制に最大限努める考えです。	無